

第2回東京大学技術発表会

平成30年2月15日(木)～16日(金)

東京大学駒場Ⅰ、Ⅱキャンパス

初の部局開催 — 運営のあれこれ

大学院総合文化研究科・教養学部 共通技術室
技術職員 関原 佑奈

注意



本講演は予稿に書ききれなかった事項がメインとなります。
ですが、予稿を未読の方でも分かるようお話できるように努めます。

質疑応答では、予稿の内容についてもお答えいたします。

報告集の予稿も



重要!

総合技術本部

および

第2回東京大学技術発表会実行委員会とは

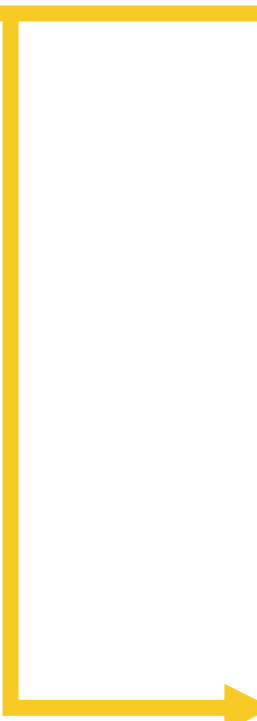
一切関係のない

あくまで**講演者個人の見解**による発表です。

第2回東京大学技術発表会とは



東京大学の全部局技術職員が集まる技術発表会
「全学技術発表会」



第1回東京大学技術発表会「第1回全学」
2016年3月@弥生キャンパス

第2回東京大学技術発表会「第2回全学」
2018年2月@駒場キャンパス

※2017年3月の総合技術研究会in東京大学は全国大会

第2回東京大学技術発表会

主催：総合技術本部

企画・運営：第2回東京大学技術発表会実行委員会



講演者は

第2回東京大学技術発表会実行委員会
副実行委員長(広報担当)

実行委員会業務から得た運営のノウハウや
幹事会が考えついたアイデアをご紹介します！

概要

- ・ 全学技術発表会のビジョン
- ・ 発信・技術継承のための学内サービス
- ・ 受付混雑回避のためのアイデア
- ・ シンポジウム案
- ・ 今後も全学技術発表会を続けていくためには

初っ端から重い話なのですが…

大事なものは「全学技術発表会」のビジョン



学内の技術職員の結束を
強めるための交流の場

学内・期間限定公開にすることで
実務に則したより深い議論が可能

両立は難しい...



技術職員の活躍を学内外に
広く周知する発表の場

技術職員の業務の学内周知
学外へ東大技術職員をアピール

大事ななのは「全学技術発表会」のビジョン

第2回は交流重視？



学内の技術職員の結束を
強めるための交流の場

学内・期間限定公開にすることで
実務に則したより深い議論が可能



予稿の学内限定公開を決定したのが
講演者登録開始後
(総合技術本部企画調整室会議)

学内限定公開なのに…

予稿集冊子にISSN付与(第1回同様)
国立国会図書館に納本(〃)
他大学・研究機関に案内状および
予稿集送付(〃)

世界中どこからでもアクセス可
世界に東大技術職員をアピール

大事なものは「全学技術発表会」のビジョン

両立は難しい...

無制限公開の場合
どういう事ができるか？

学内の技術職員の結束を
強めるための交流の場

学内限定公開
実務へのより深い議論



技術職員の活躍を学内外に
広く周知する発表の場

技術職員の業務の学内周知
学外へ東大技術職員をアピール

外へ発信！そして技術継承のために



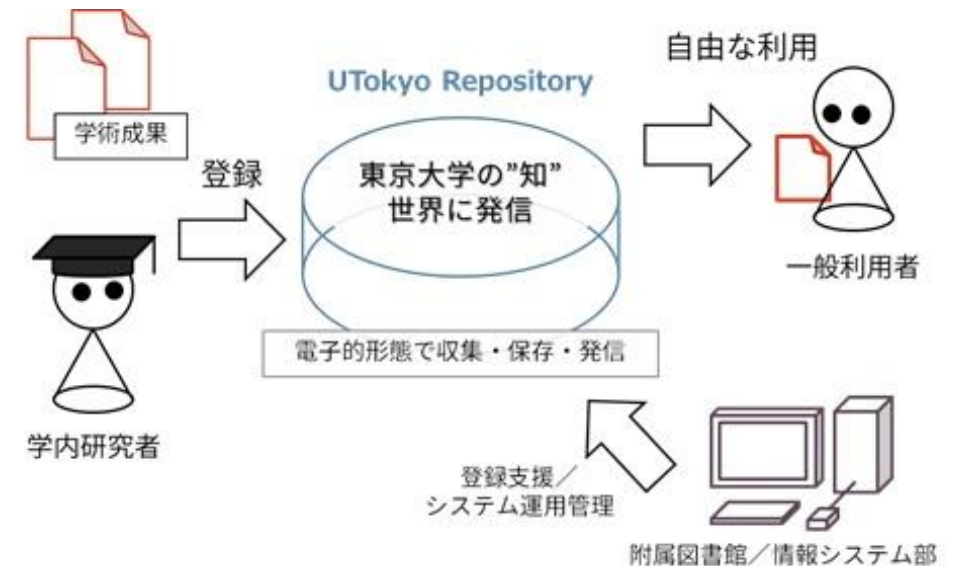
東京大学で発表、発刊された論文や雑誌、講義に使用したスライド等を電子化し、インターネット上に公開する

無制限公開(学内外問わず)

- 参加者への冊子媒体による予稿集の配布が必須でなくなる
- 学外参加者も予稿閲覧が容易

無期限公開

- 検索エンジンの検索対象なので参加者以外にも本学の技術職員の活動を知ってもらえる機会が増える



画像提供: 東京大学学術機関リポジトリ

駒場キャンパス技術発表会の技術報告集も登録できる!



<http://todai.tv/>

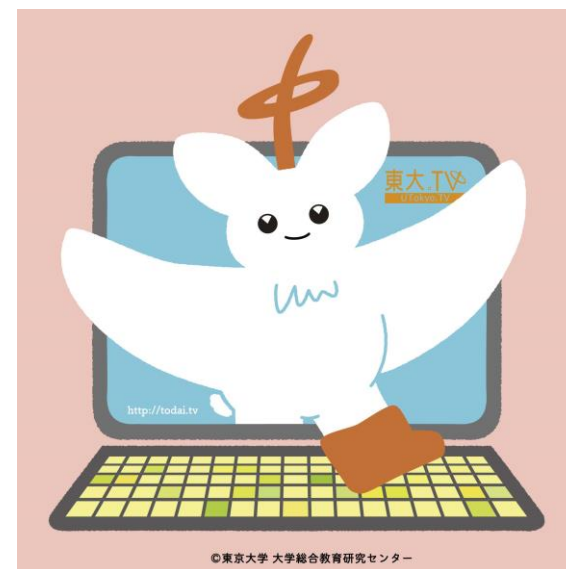
運営：東京大学 大学総合教育研究センター

東京大学で開催された公開講座や講演会を動画で配信するサービス

2013年12月5日の羽生善治竜王の講演
2016年3月30日の梶田隆章教授の講演など

学内限定配信では、教職員の教育、支援、
キャリアアップのための教材動画が
数多くアップロードされています。

**発表会に参加できなかった方も
後日、動画配信で聴講できる！**



東大TVマスケットキャラクターの
ぴぴり氏

外へ発信！そして技術継承のために



インターネット上に公開されデータとして残ることで
東京大学の技術職員の活躍を外に向けて発信することができ
その技術を必要としている人に技術を継承することができる

受付混雑解消のために 編み出したあれこれ

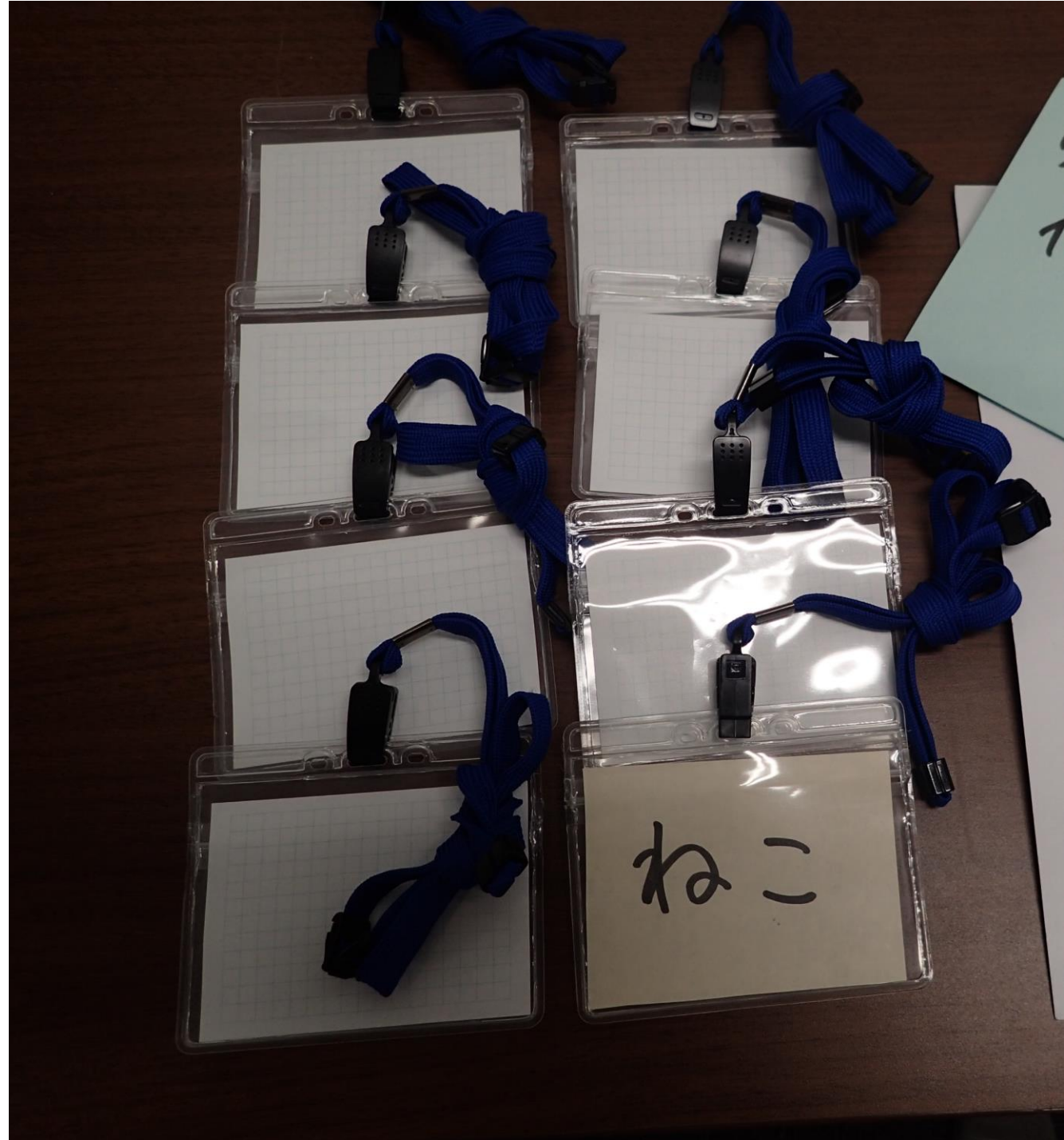
- ☆ 発表会受付の名札立て
- ☆ 情報交換会の集金方法



大きな学会や発表会、懇親会の受付はだいぶ混雑しがち…
少しでもスムーズな手続きのために工夫したあれこれを紹介

発表会受付時に 配布する名札

- ・ 数が多すぎて置き場所に困る...
- ・ どこにあるか分かりにくい...
- ・ 途中で配置が乱れたり...



発表会受付の名札立て

氏名をカタカナで書いておく！

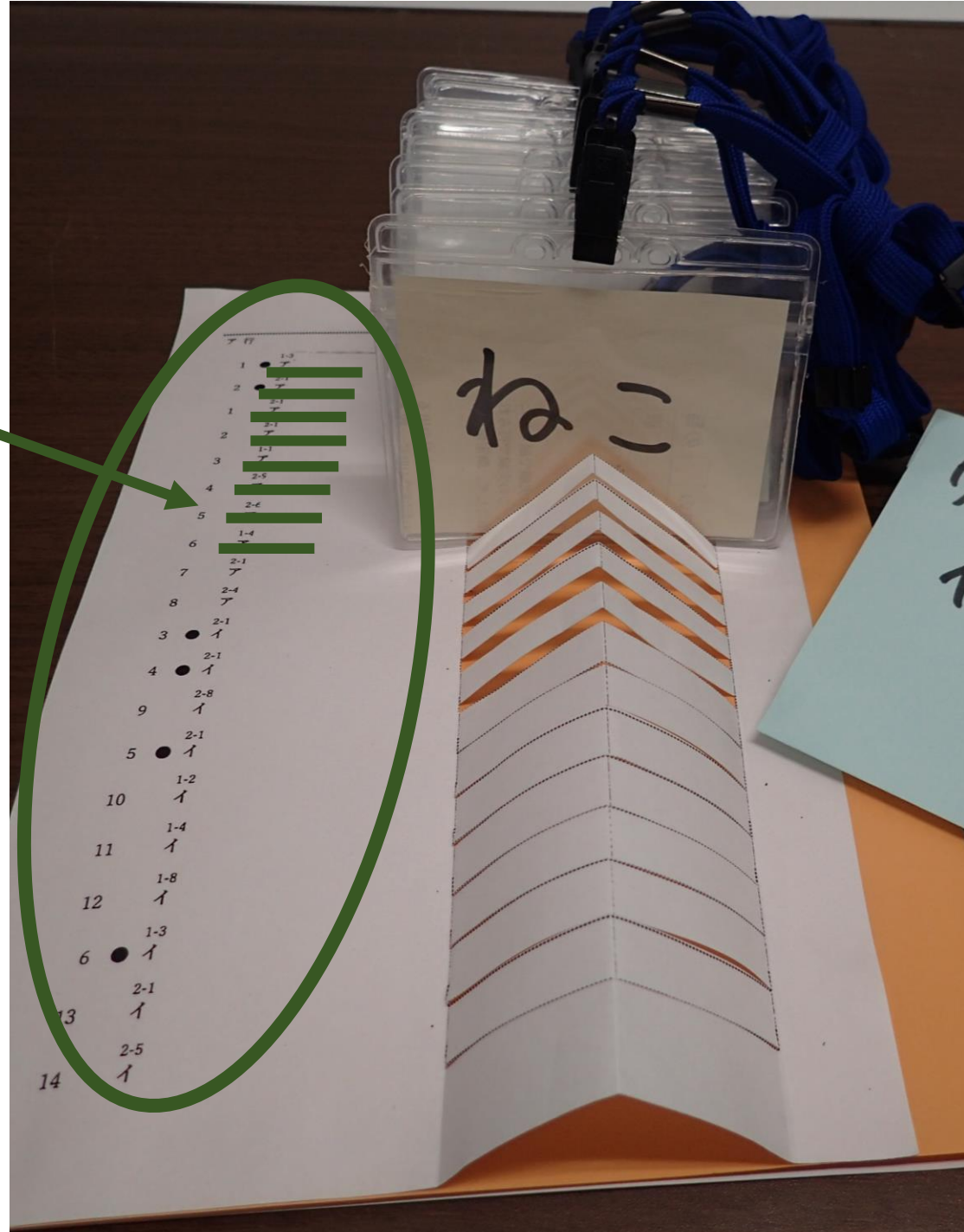
こうすると...

スペースとらない！

(A4サイズのスぺースに
名札20個配置可能)

探しやすい！

受付済か分かりやすい！



情報交換会の集金を伴う受付

今回は第1回と同様に当日集金

第1回では…

- 受付の混雑
- 混雑による開会の遅延
- 集金トラブル

反省を活かして第2回は…

- 参加者から必要な係員の人数等を逆算
総合受付と分けて作業負荷を分散
- 時間に余裕を持って開会
- 過不足なく集金・当日欠席者からも

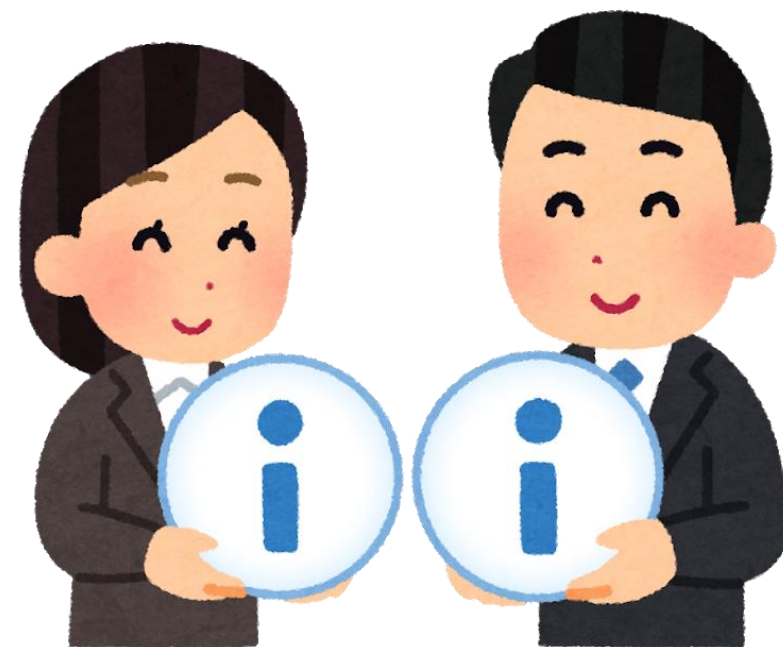
入念な準備を行い、やり方を工夫することで、
当日集金でも問題なく受付が行える！
具体的な方法や詳細は予稿を読んで下さい。

シンポジウム

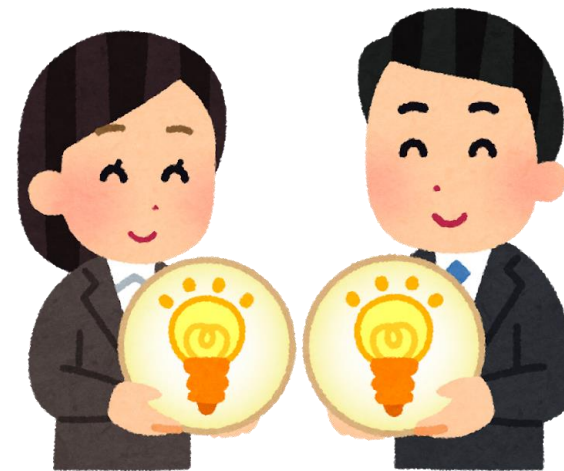
第2回は、タイムスケジュールの関係上、
シンポジウムは行わなかった

実行委員会の会議で出たシンポジウムのテーマは主に

- **技術職員の未来**
- **技術の継承**
- **駒場の紹介 (→特別企画)**



- **技術職員の未来**
- **技術の継承**

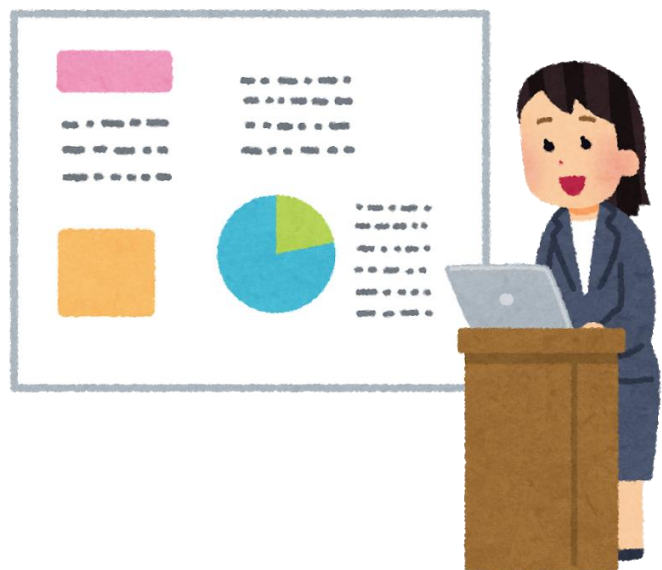


人員削減による技術職員の減少に
引き継ぎもままならず、後任の雇用もなく消えたポストも

今後の技術職員のあり方や、技術継承への関心の高さが窺えた

今後も「全学技術発表会」を続けていくためには…

運営と発表を両立させるのは
かなりの労力が必要



開催部局でない部局の技術職員が
積極的に発表することが重要なのでは

今後も「全学技術発表会」を続けていくためには…

部局の特色ある技術発表会

開催部局

**特別企画
見学会**

発表会を運営して
開催部局のことを紹介する

他部局

**口頭発表
ポスター発表**

会場に行って発表して
開催部局のことを知る

まとめ

- ・「全学技術発表会」のビジョンを定める必要性
- ・発信・技術継承のための学内サービス



- ・受付混雑回避のためのアイデア
- ・シンポジウム案
- ・今後も全学技術発表会を続けていくためには
開催部局以外の方が積極的に発表していこう！

謝辞

第2回東京大学技術発表会を開催するにあたり、
大変多くの方のご協力とご支援を賜りました。
改めてお礼申し上げます。
本当に有難う御座いました。

そして、今回発表させていただくにあたりましても、
第2回東京大学技術発表会実行委員をはじめ、
各関係部署にも大変お世話になりました。
ご理解、ご支援下さいまして本当に有難う御座いました。

この発表が何かのお役に立てることがありましたら、
幸いです御座います。

ご清聴
ありがとうございました

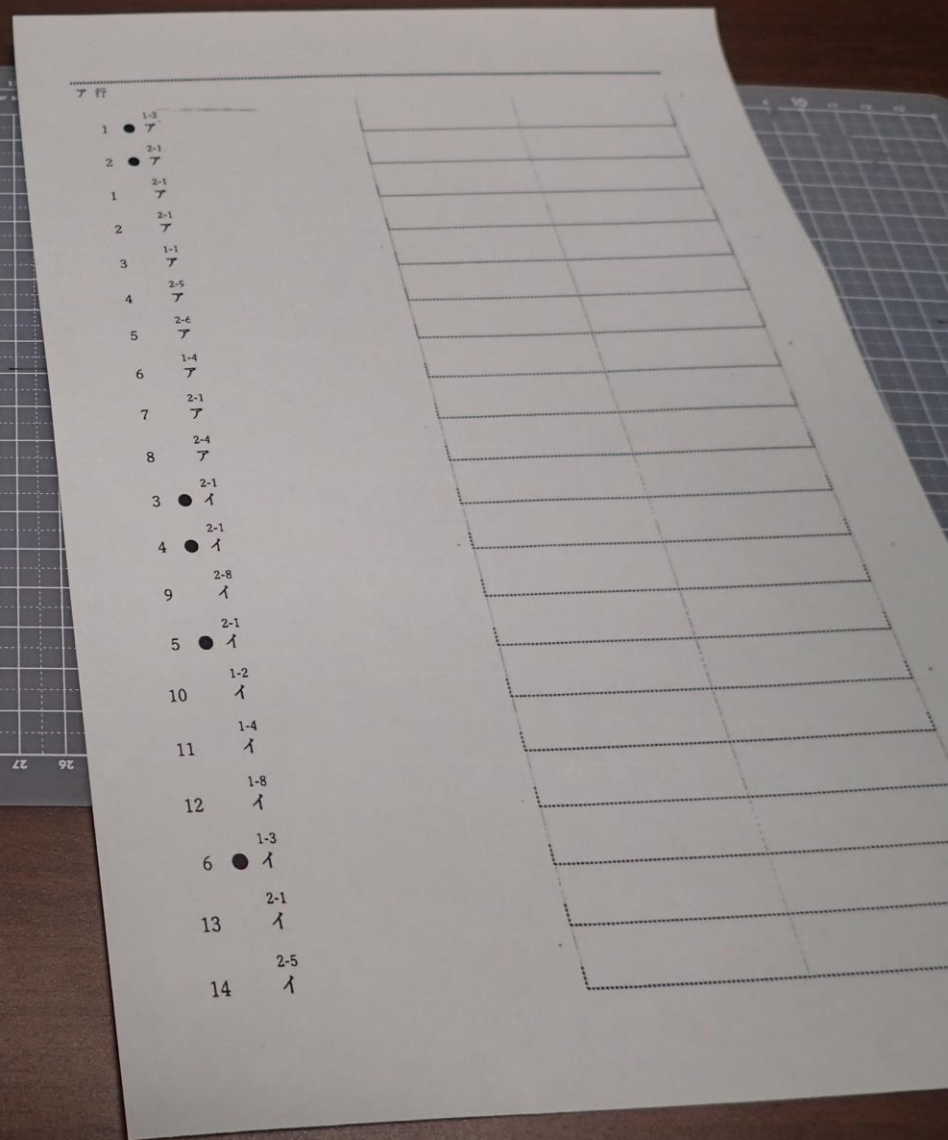
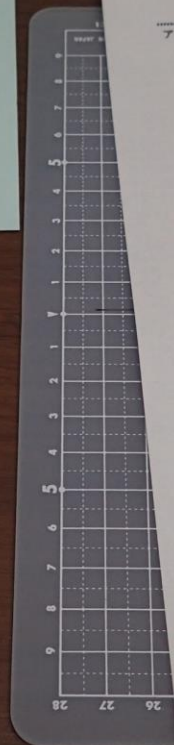
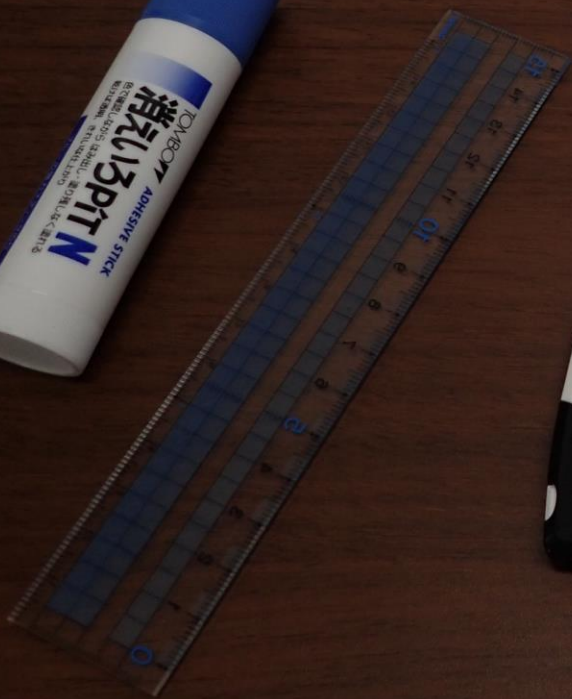


名札立ての作り方

用意するもの

参加者の名前を書いた紙
カッター
線引き
糊
カッターマット

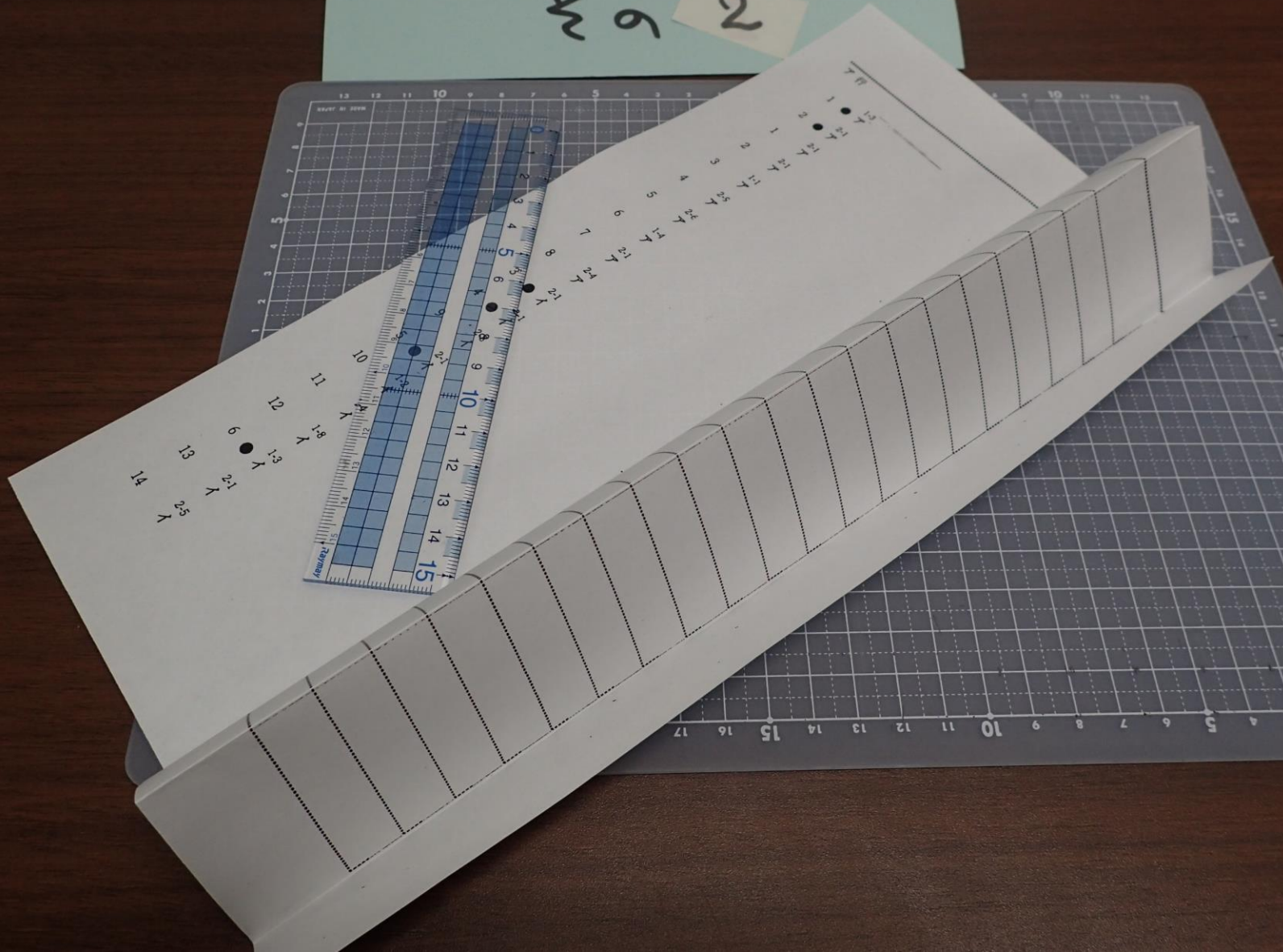
名札立て
作り方講座
その1



名札立て
作り方講座

その 2

紙を折ります。



名札立て 作り方講座

その 3

点線に沿って切ります。

ア行

1 ● ア

2 ● ア

1 ア

2 ア

3 ア

4 ア

5 ア

6 ア

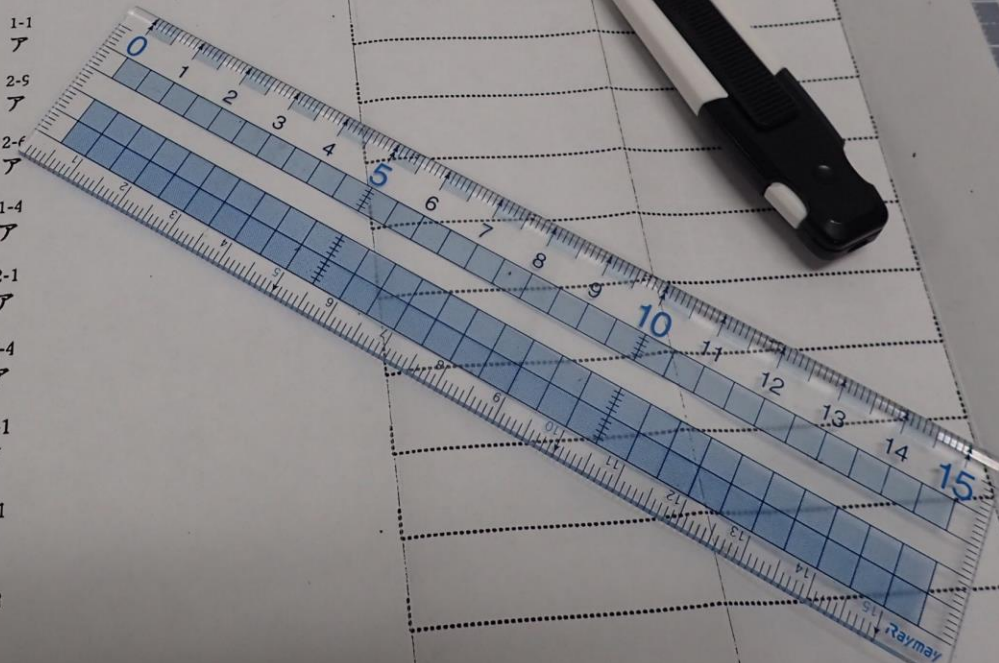
7 ア

8 ア

3 ● イ

4 ● イ

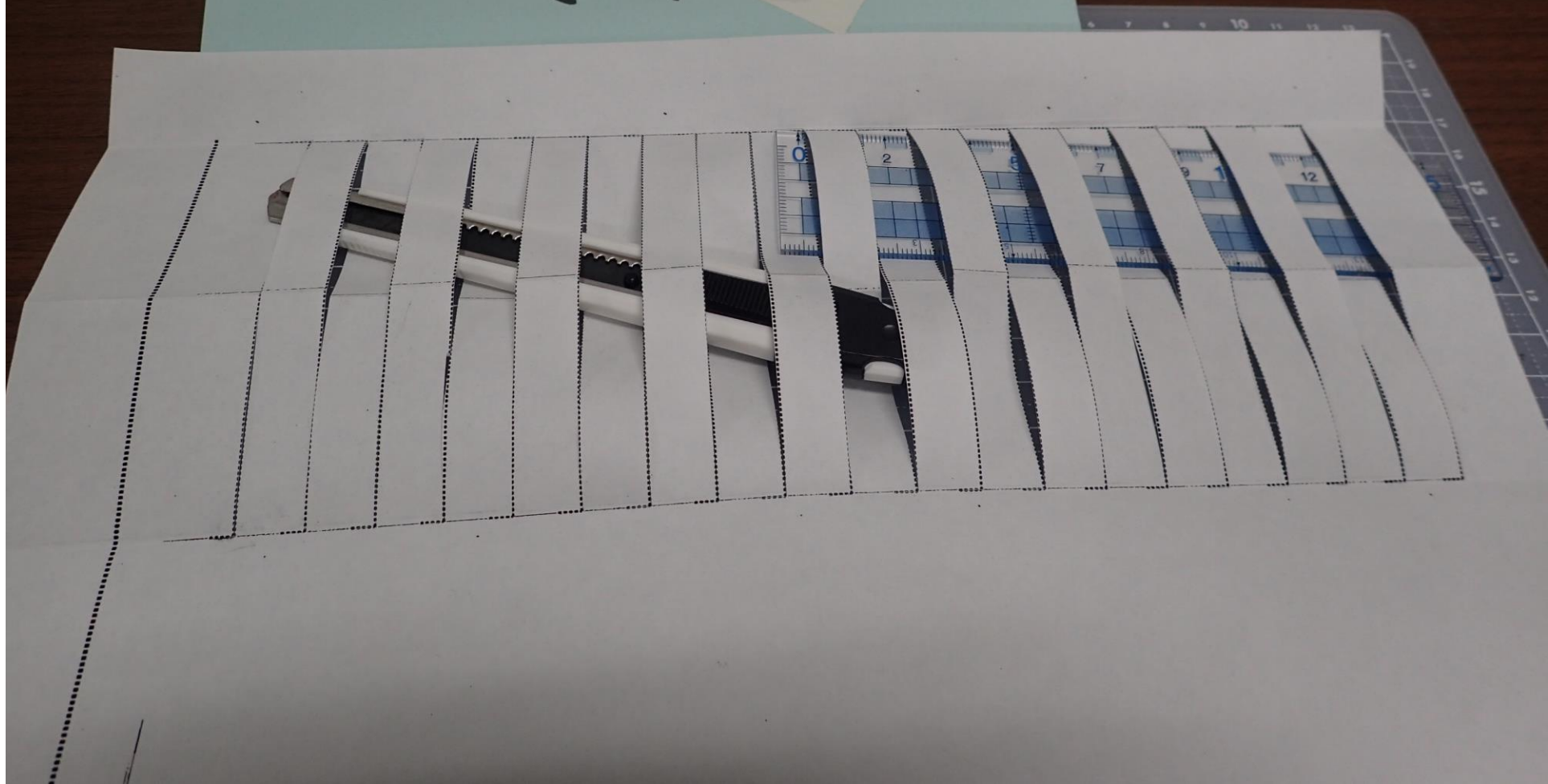
9 イ



名札立て
作り方講座

その 4

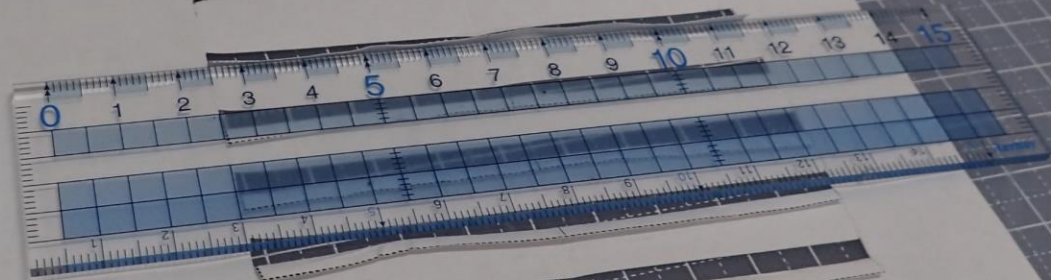
切り終わった様子



分札立て
作り方講座

その 5

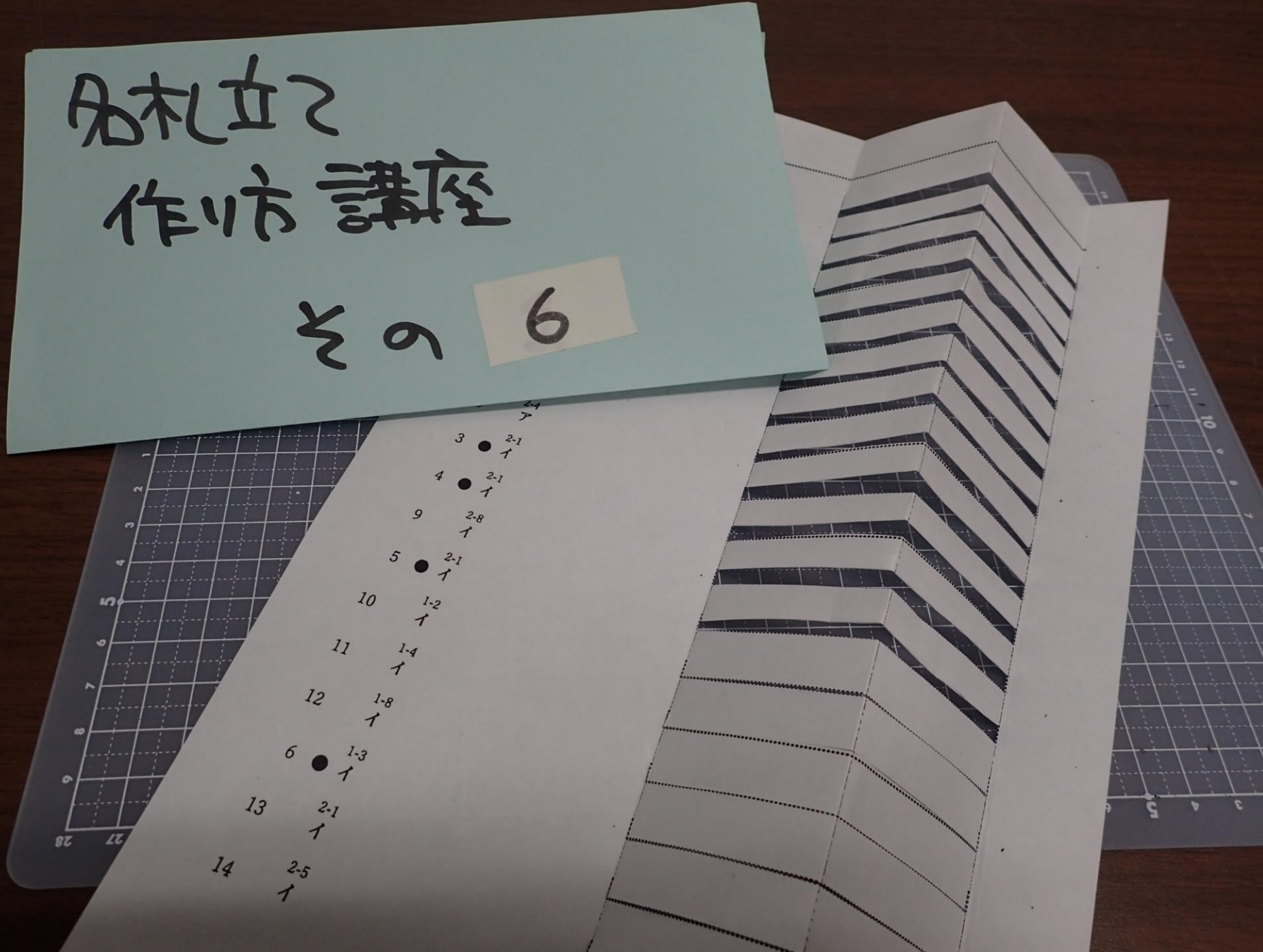
裏返しにして
折り込みます。



名札立て
作り方講座

その 6

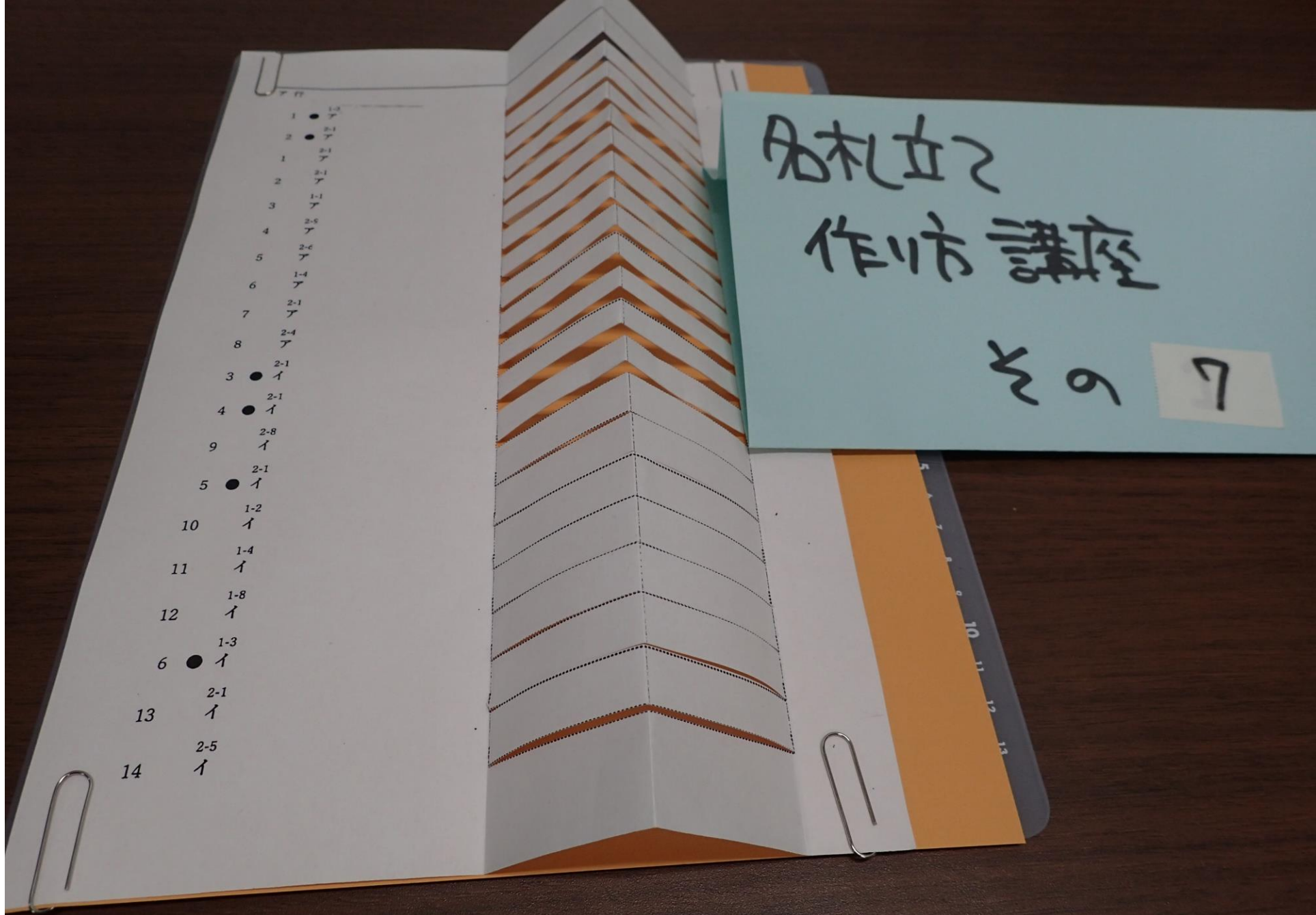
表から見た様子



糊でA4普通紙に貼り合わせ

完成

(下半分は折込作業を省略しています)



名札8個が



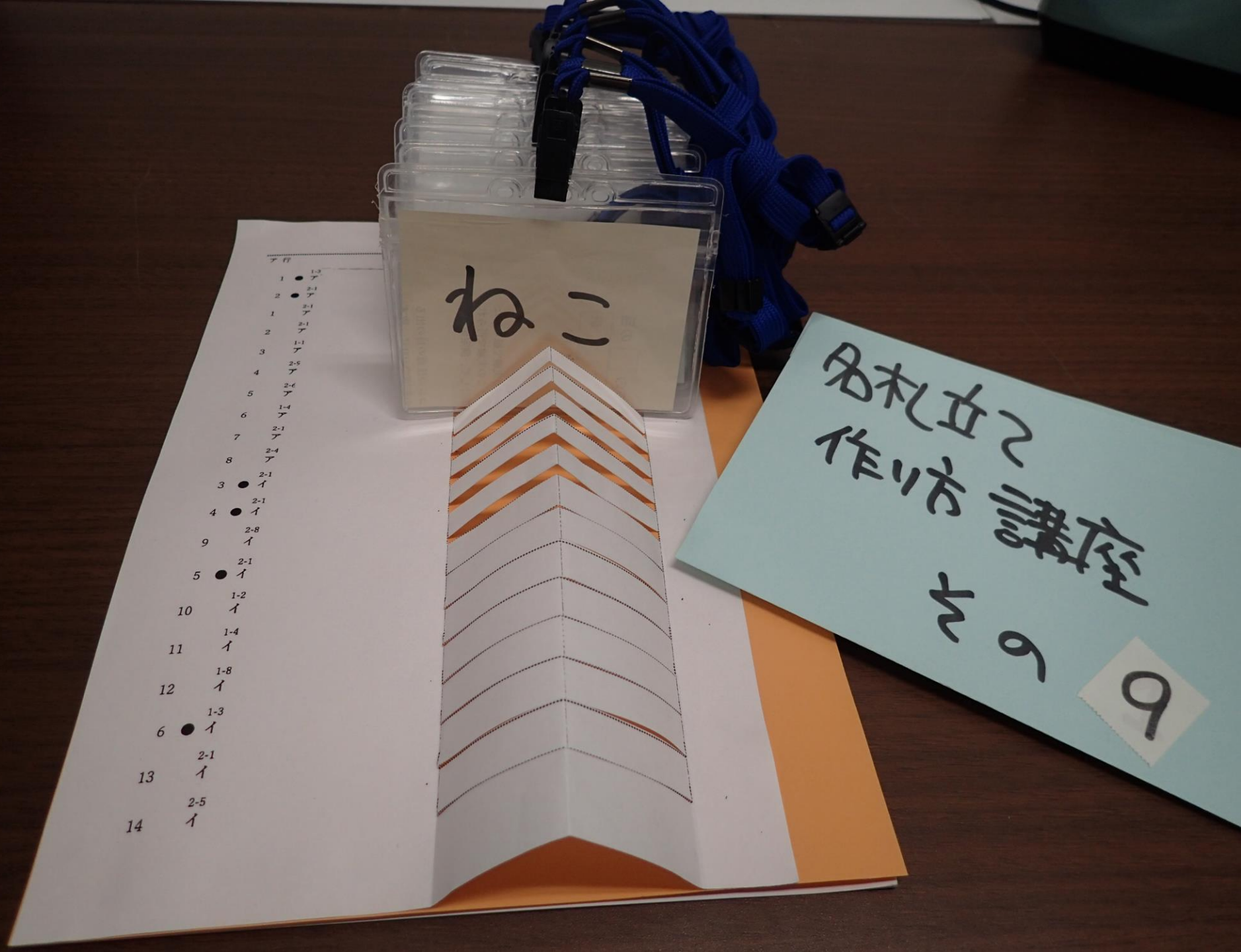
名札並べ
作り方講座

さの

8

スッキリ!

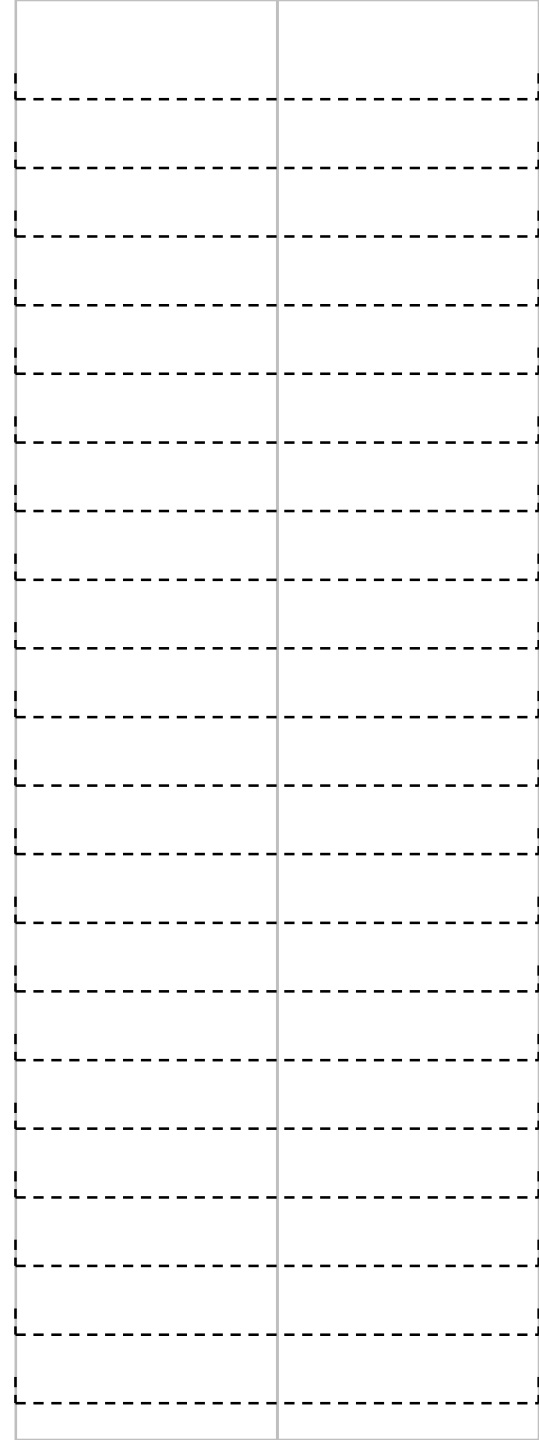
A4サイズ1枚で
名札が20個



名札スタンド例

第2回東京大学技術発表会実行委員会 副実行委員長である
前橋氏(生産技術研究所 技術専門職員)が
本デザインを作成しました。

ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい
ああああ いいいい



以上で発表スライドは終わりです。